

情報工学科三つの方針

【情報工学科】ディプロマ・ポリシー

情報工学科は、数学や物理の基礎知識の習得に加え、電子工学やシステム工学に到る高度の学問を修得し、実践的な問題解決能力を身に付け、所定の単位を修得した学生について、学校長に卒業の認定を求める。

所定の単位とは、全ての必修科目、一般科目 75 単位、専門科目 82 単位を含んで 167 単位以上を指す。

修得する能力は学習・教育到達目標（準学士課程）に示された通りである。所定の単位を修得すれば、必然的に目標に示された能力が修得されるよう対応科目を設定している。特に、数学や物理の基礎知識の習得に該当する目標は 3-a であり、電子工学やシステム工学に到る高度の学問の修得に該当する目標は 3-c であり、実践的な問題解決能力を身に付けることに該当する目標は 1-b と 3-d、4-a である。

【情報工学科】カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーにて掲げた学問を修得するため、また、問題解決能力を育成するために、学習・教育到達目標（準学士課程）の項目毎に対応科目を設定している。

各目標とすべての科目の対応は、「在校生の方」>「シラバス（平成 29 年度版）」>「本科」>「教育方針・系統図等」に記載されています。

1-b：工学実験や情報応用演習、卒業研究などの実技科目

2-a：人文科学などの一般教養科目と卒業研究

3-a：自然科学科目と情報数学や数値解析などの専門科目

3-b：コンピュータリテラシーや卒業研究などの実技科目

3-c：情報工学の基礎科目から高度の学問、各種特論などの専門科目

3-d：創造教室や工場実習、システム設計学、卒業研究などの創造学習やインターンシップ、PBL 科目

4-a：特に倫理に関する科目と哲学や法学、知的財産に関する科目と、工学実験や工場実習、情報応用演習などの実技科目やインターンシップ

全ての科目に係る単位修得の認定は科目のシラバスに記載する成績評価の基準によるものとする。科目によっては、主に定期試験によるものや、レポート等の評価結果によるものもある。

【情報工学科】アドミッションポリシー（入学者に求める能力と適性）

本校の学習・教育到達目標に共感し、この目標達成にふさわしい素質と能力のある人を受け入れます。特に、次のような人を求めています。

1. 論理的な思考ができる人
2. ものづくりが好きな人
3. プレゼンテーション能力のある人
4. 21世紀の世界を支える技術者として、大いに活躍したいという夢のある人